

## 10 試験研究

### 林業試験場試験研究課題

試験研究項目	研究期間	研究内容	担当研究室
1 県産材の需要拡大に関する研究			
(1) 県産材と伝統技術を有効に活用した住宅用耐力壁の開発	H23～25	県産スギを活用した住宅耐震リフォーム等に適した耐力壁を開発する。	木材利用
(2) 県産ヒノキ材の横架材としての利用技術の開発	H23～25	ヒノキB、C材の強度性能を把握し、住宅用横架材としての利用技術を開発する。	木材利用
(3) スギ・ヒノキを活用したハイブリッドLVLの生産・利用技術の確立	H23～25	住宅用土台、梁桁材としての活用を目指して、県産スギ・ヒノキによるハイブリッドLVLの生産・利用技術を確立する。	木材利用
(4) 県産スギ材の材質及び強度に優れた品種の選抜	H23～27	森林所有者の再造林意欲を高めるため、成長・材質・強度に優れたスギ品種を選抜する。	木材利用
(5) スギ一般大径材を活かした芯取り製品の開発	H25～29	スギ大径材の価値の向上と利用拡大を図るため、スギ一般（並材）大径材を使った新たな芯取り製品の生産技術を開発する。	木材利用
(6) 小幅板のクロスパネル化による新たな利用価値の創出	H25～29	国産材の新たな活用策として注目されているCLT等クロスパネルの開発、性能評価を行う。	木材利用
2 健全で豊かな森林づくりに関する研究			
(1) ナラ類集団枯損被害の初期防除と拡大防止手法の開発	H23～25	ナラ類集団枯損の最先端地被害における拡大を防止するためのナラ枯れ被害防除手法を確立する。	森林管理
(2) 松くい虫被害地におけるクロマツ苗木の活着率向上試験	H23～25	松くい虫被害が生じたクロマツ林の防風機能を早期に回復させるため、高価な松くい虫抵抗性苗を高確率で活着させるための技術を確立する。	森林管理

試 験 研 究 項 目	研究期間	研 究 内 容	担当研究室
(3) 地下流水音探査法を用いた効果的山地災害対策のための技術開発	H24～26	地下流水音探査法の実証試験を行い、地下流水音探査法による危険箇所判定技術を実用化する。	森林管理
<p>3 活力ある林業・山村づくりに資する研究</p> <p>(1) スギ人工林の品質向上に関する施業技術の確立</p> <p>(2) 高性能林業機械の稼働率を向上させる現地モデル試験</p> <p>(3) ハイブリッド無花粉スギの創出</p>	<p>H22～26</p> <p>H23～25</p> <p>H24～33</p>	<p>地域品種であるオキノヤマスギを対象に、強度性能と心材率についての環境及び施業による変動の分析を行う。</p> <p>高性能林業機械を使った効率的な伐採搬出作業について、現地で高性能林業機械を使った実証試験を行う。</p> <p>既存の材質強度、耐虫性および耐雪性品種などに無花粉形質を取り込んだ付加価値の高いスギ造林品種を創出する。</p>	<p>森林管理</p> <p>森林管理</p> <p>森林管理</p>